

## 衛星通信の発展に向け AIAA 衛星通信フォーラムの活動に期待



石原 秀昭（総務省大臣官房技術総括審議官）

昭和 46 年 郵政省 入省  
平成元年 電気通信局電波部監視管理課長  
平成 3 年 放送行政局技術課長  
平成 5 年 宇宙開発事業団計画管理部主任開発部員 次長  
平成 7 年 北海道郵政監察局長  
平成 8 年 北海道電気通信監理局長  
平成 10 年 近畿電気通信監理局長  
平成 11 年 電気通信局電波部長  
平成 13 年 現職に就任

**本**年 7 月に総務省大臣官房技術総括審議官を拝命し、総務省の宇宙開発に携わることとなりましたが、それから間もない去る 8 月 29 日、宇宙開発事業団が H-A ロケットの打上げに成功しました。今回の打上げ成功は、我が国の宇宙開発に大きな前進をもたらす非常に喜ばしい出来事であり、宇宙開発に携わる立場として今回の成功の喜びを分かち合えたことは大変幸運であったと感じています。

また、一昨年の H- ロケット 8 号機の失敗以来、長いトンネルを抜けての今回の打上げ成功は、宇宙開発に対する国民の信頼感を取り戻すとともに、21 世紀の科学技術にとって最大のフロンティアの一つである宇宙に人々が再び目を向けるきっかけともなるでしょう。

一方、インターネットをはじめとする情報通信の進展は近年めざましいものがあり、政府は本年 1 月に施行された IT 基本法に基づいて、高度情報通信ネットワーク社会の形成に向けて研究開発をはじめとした様々な施策を展開しているところです。こうした中で、同報性、広域性、耐災害性等に優れる衛星通信の役割もますます重要になってきています。

総務省としても、衛星通信の一層の高度化を目指し、次世代のパーソナル移動体衛星通信や超高速大容量衛星通信の実現等に向けて、ETS- や超高速インターネット衛星といった、通信・放送・測位等の分野における衛星開発を推進しています。宇宙開発においてロケットと衛星は車の両輪であり、今回のロケットの打上げ成功に続くべく、これらの衛星開発も着実に推進していきたいと考えています。

また、衛星通信の更なる発展のためには、産学官の協力や国際的な連携・協調が不可欠です。我が国の衛星通信を支える中心的な方々がメンバーとなっている AIAA 衛星通信フォーラムが、今後とも一層精力的な活動を展開し、21 世紀の我が国の衛星通信の発展を引き続きリードしていくことを期待しています。